

子ども食堂に 食料品を寄贈

JT八戸支店
八学大セミナー

新型コロナウイルスに
関する支援策として、J
T八戸支店（藤澤法行支
店長）は18日、子ども食
堂の運営を推進する、八
戸学院大健康医療学部の
佐藤千恵子准教授のゼミ
ナールに対し、子ども食
堂用の食料品を寄贈し
た。

同社は地域貢献の一環
で、今年から子ども食堂
の支援に着手。同支店は
青森支店と共に、既に十
和田、青森、弘前3市の
運営団体に対し、同社グ
ループ企業が製造する各
種食料品を贈っている。



藤澤法行支店長（後列左）から
食料品の寄贈を受けた佐藤千恵
子准教授（前列中央）ら

この日は藤澤支店長ら
が同大を訪問。寄贈予定
のバックご飯約340
個、計4千杯分のコーヒ
ー・紅茶の一部を現物で
手渡した。残りは後日、
子ども食堂の会場に直接
届ける。

藤澤支店長は運営に携
わる学生からも話を聞
き、「自己満足の活動で
終わらぬよう、これから
も真に必要な支援を心掛
けたい」と強調。佐藤准
教授は「子ども食堂は人
と人のつながりだけでな
く、官民による多様な支
援へとつなげる場にもな
る。今後も各企業・団体
に柔軟な形で協力をお願
いできれば」と期待を寄
せた。

また、同社青森支店は
この日、ひとり親家庭へ
の支援として、青森県母
子寡婦福祉連合会（青森
市）にも食料品を寄贈し
た。
（井上周平）